

令和 2 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子白鳳高等学校
校長 松田 敏男

評 価 日	令和 3 年 1 月 2 3 日 (土)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和傘作りや銭太鼓、地元保育園との交流など地域と連携した体験的学習が多く、生徒の成長につながっている。淀江漁港や生産農家などとも連携し、更なる事業の充実を図ってほしい。 ・自己評価が少し厳しいのではないか。授業のUD化などは充分評価できる。 <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「通級による指導」や学校設定科目「ソーシャルスキル」など全国的にみても米子白鳳高校の取り組みはユニークだと思う。 ・授業など学校の取り組みをHPで積極的に発信している。HPに意見欄などを設けてみてはどうか。 <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会では、生徒は自分の気持ちを堂々と発表していた。彼らが自信を持って過ごしていることがわかった。社会にしっかり目を向けた教育をされており心強い。 ・学校内託児（通信制就学支援事業）により、若い母親がもう一度学び、高等学校を卒業すれば次のステップに進んでいくことができる。 <p>3. 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールについては、規程等きちんと整理しておくとうい。地元の中学校や地域の事を理解している公民館とも連携していくことができればより面白いことができるのではないかな。 ・小中学校では表に出ることを苦手としていた生徒が、自信を持って生活できる教育を引き続き続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域と連携した体験的交流活動を通して、「社会的な自立に向けた支援」に取り組む。 ・授業のUD化はまだ途中段階である。改善プロジェクトを通し推進していく。 ・今後も生徒の活動や地域との関わりなどをHPやマスコミを通じて積極的に発信していく。 ・学校裁量予算を有効に活用し生徒にとって興味、関心が持てる体験的学習に継続して取り組みたい。地元の企業との連携にも取り組んでいく。 ・困難を抱えている生徒が安心・安全に充実した学校生活を送れるようサポートしていく。 ・次年度コミュニティ・スクールを導入し、地域に育てていただくだけでなく、生徒たちが地域に貢献できる学校づくりを目指す。 	